

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	「新型コロナウイルス感染防止対策」により、ご家族様と職員との面談が少なくなっている。特に県外在住のご家族様とのつながりが以前に比べて少ない状態にある。このことを改善し、入居者様にもご家族様にも安心して生活できるよう「新型コロナウイルス感染防止対策」を考慮したうえで、共に支えるという関係性を大事にしたい。	・「新型コロナウイルス感染防止対策」や通信等で、ご家族様との関係を築き、共に支えていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のご家族様への入居者様の様子を書いた手紙の送付を継続。 ・2ヶ月に1回、新聞の発行を継続。 ・入居者様から県外在住のご家族様への電話。 ・「新型コロナウイルス感染防止対策」の強化による面会 ・パソコンやタブレット等の通信機器を使用した面談。 	12か月
2	48	「新型コロナウイルス感染防止対策」で外出することがなくなり、楽しみが減っている状況を改善し、毎日を笑って生活できるような支援をしたい。	・入居者様の得意なこと好きなことを見極め、生きがいを感じながら笑顔で生活できるように支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日レクリエーション(貼り絵、塗り絵、書道、クイズ等)を開催する。 ・「ラジオ体操」の継続。 ・できる手伝い(洗濯たたみ、清拭布たたみ、食器洗い、食器拭き等)をしていたただく。 ・職員が話題を提供し、みんなで会話をする。 ・カラオケを楽しむ。 ・映像で旅行気分を味わい、楽しむ。 	12か月
3	35	全ての災害に対して、入居者様・ご家族様が安心して生活できる災害に強い施設でありたい。	・家族にも避難訓練要綱・結果の記録等を伝え、安心していただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害対策計画の策定を行う。 ・避難訓練・個別誘導の勉強会を行う。 ・利用者情報(緊急時ご家族様の連絡先・入居者様の状態等)を作成する。 ・建物周辺の情報を収集する。 ・十分な量の非常食や暖房の確保。 	12か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。